

平成 30 年度

外 来 種 対 策 事 業
(ク ジ ャ ク 対 策)

業 務 実 施 報 告 書
(概 要 版)

平成 31 年 3 月

沖縄県環境部自然保護課
株式会社南西環境研究所

目次

第1章	業務概要	1
1.1	業務名.....	1
1.2	おもな履行場所.....	1
1.3	業務実施期間.....	1
1.4	発注者.....	1
1.5	受注者.....	1
1.6	作業項目.....	2
1.7	業務目的.....	2
1.8	業務実施フロー.....	3
1.9	業務工程.....	4
第2章	クジャク営巣卵の探索および駆除	5
2.1	はじめに.....	5
2.2	方法.....	5
2.3	調査結果.....	6
第3章	クジャクねぐら調査および生体駆除	16
3.1	はじめに.....	16
3.2	ねぐら調査.....	17
3.3	くくり紐（ワイヤー）を用いた生体捕獲.....	19
3.4	空気銃を用いた生体捕獲.....	22
3.5	まとめ.....	23
3.6	引用文献.....	24
第4章	胃内容調査	25
4.1	はじめに.....	25
4.2	方法.....	25
4.3	分析結果.....	26
4.4	引用文献.....	28
第5章	クジャクの新規捕獲手法の試行	30
5.1	はじめに.....	30
5.2	方法.....	30
5.3	調査結果および考察.....	35
第6章	クジャク生息調査	37
6.1	はじめに.....	37
6.2	方法.....	37
6.3	調査結果.....	39

6.4	引用文献.....	43
第7章	クジャク対策事業まとめ	44
7.1	平成30年度駆除結果まとめ.....	44
7.2	エリアごとのクジャク対策結果.....	48
第8章	平成31年度計画（案）	68
8.1	平成31年度方針（案）.....	68
8.2	新規防除手法案.....	69
8.3	総合評価.....	71
第9章	作業部会	73
9.1	第1回作業部会の概要.....	73
9.2	第2回作業部会の概要.....	73

巻末資料1 事業概要

第1章 業務概要

1.1 業務名

平成 30 年度外来種対策事業（クジヤク対策）

1.2 おもな履行場所

沖縄県八重山郡竹富町黒島とした(図 1.1)。

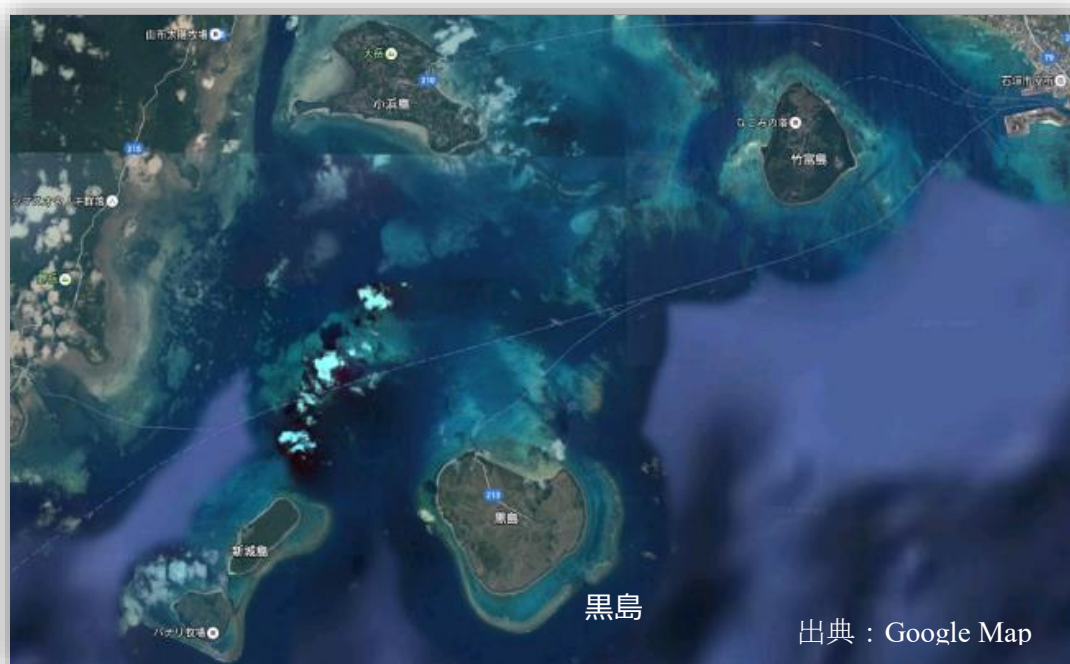


図 1.1 おもな業務位置図（黒島）

1.3 業務実施期間

平成 30 年 4 月 2 日～平成 31 年 3 月 29 日

1.4 発注者

沖縄県知事

沖縄県那覇市泉崎 1 丁目 2 番 2 号

1.5 受注者

株式会社 南西環境研究所 代表取締役 田中 順一

沖縄県中頭郡西原町字東崎 4-4

1.6 作業項目

(1) 調査実施計画書等の作成

当該業務を計画的かつ安全に遂行するため、沖縄県環境部自然保護課担当職員と協議のうえ、業務実施計画書および安全管理計画書を作成した。

(2) クジャク営巣卵の駆除

クジャクの生息範囲および繁殖場所等の把握のための既存文献調査および現地調査を実施した。

(3) インドクジャクのねぐら調査および成体駆除

年間6回のインドクジャクのねぐら調査を行うとともに、当該ねぐら地点において成体の捕獲・駆除を実施した。

(4) クジャク調査

業務実施地域内でのクジャク生息調査を実施した。なお、クジャク生息調査はモデル地区および対象区となる近隣離島（1島）でも実施した。

(5) 胃内容調査

当該業務で駆除された30個体の胃内容分析を実施した。

(6) 新規防除手法の提案および試行

上記（2）～（5）以外の新規防除手法について提案・試行した。

(7) 作業部会の設置・運営

インドクジャクの生息状況調査および次年度以降の対策案等の内容の評価にあたり、専門家を含めた作業部を平成30年8月10日および平成31年1月31日に開催した。

(8) 打合せ

初回、最終、作業部会実施前に実施した。

(9) 業務実施結果とりまとめ

業務実施結果をとりまとめた最終成果報告書および原稿一式を作成した。

1.7 業務目的

沖縄本島および離島においては、様々な外来種が侵入しており、在来生物の生息に多大な影響を及ぼしている。特に、生態系被害防止外来種リストにおける緊急対策外来種については、生態系へ著しく悪影響を及ぼすとされている。

緊急対策外来種のちインドクジャク（以下、「クジャク」という。）については県内で

一部定着が確認されており、本県生態系の脅威となりつつある。外来種対策については、外来種被害防止行動計画等で早期対策の重要性があげられていることから、すでに本県に侵入し、定着しているインドクジャクについて、今後の防除等を円滑に進行するために、生息範囲の調査および効率的な捕獲手法の開発を行う。

平成 30 年度事業では、モデル地区（黒島）において新たな防除・捕獲手法の開発・実証を進めることを目的とする。

1.8 業務実施フロー

当該業務は、図 1.2 に示す作業フローにしたがって実施した。

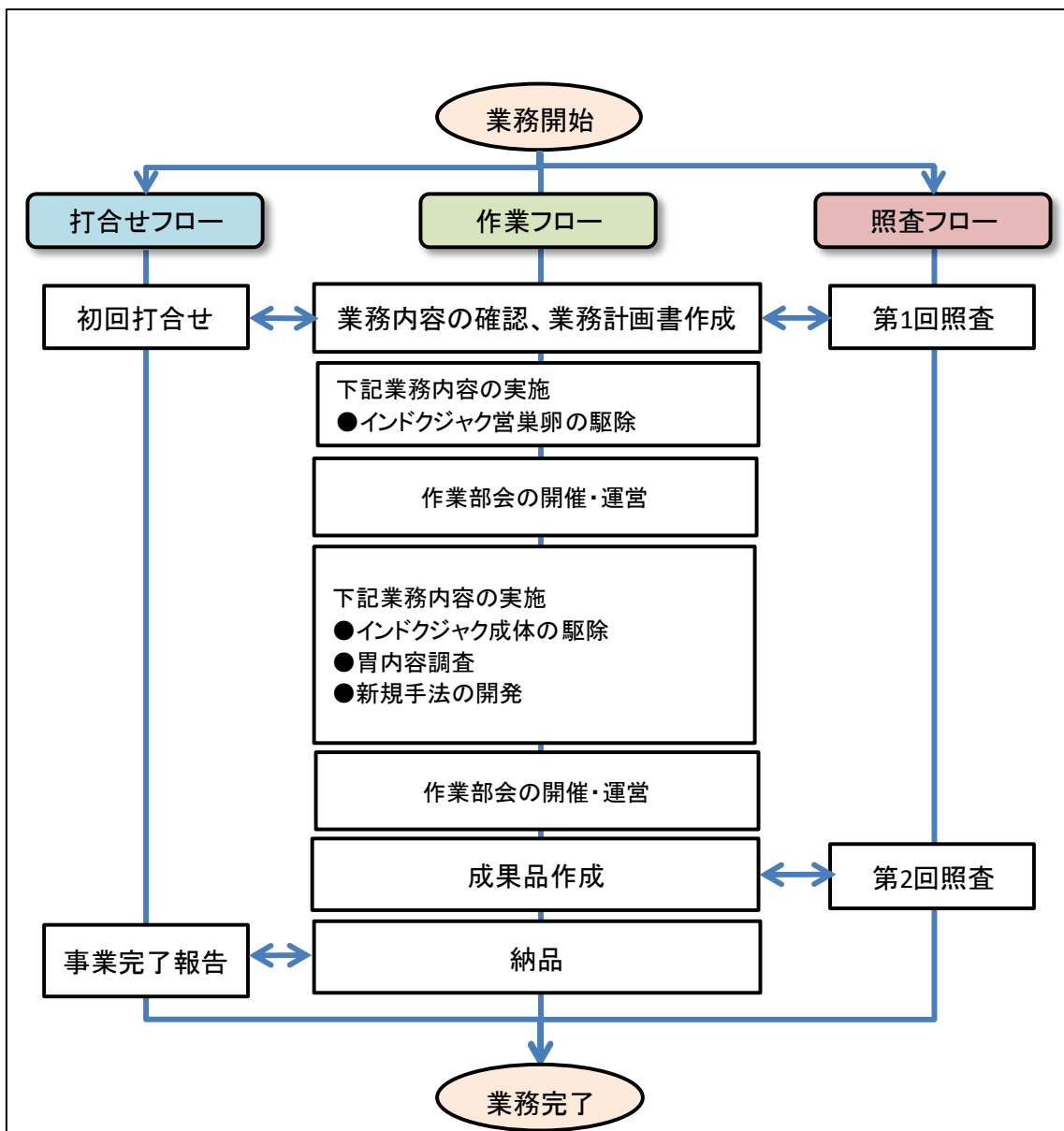


図 1.2 作業フロー

1.9 業務工程

当該業務の業務工程を表 1.1 に示す。照査は打合せ前に社内で自主的に実施する。
また、打合せ協議は業務開始時、作業部会前、成果品納入時に実施した。

表 1.1 業務工程表

業務区分		年・月	平成30年										平成31年			備考	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
打合せ協議			●				●						●		●		
照査			●												●		
計画準備（業務実施計画書等作成）			■														
既存資料調査			■												随時実施		
現場調査	営巣卵駆除		■													20日間程度	
	成体駆除（銃器等）							■	■	■	■	■	■	■	銃器など6回		
	クジャク調査													■	繁殖期		
	新規防除手法の検討・提案		■												10日間程度		
胃内容調査									■							随時実施	
データとりまとめ					■												
作業部会							●							●	2回開催		
報告書作成															■		